

事業所における自己評価結果

討議年月日:令和 6 年 3 月 5 日

公表:令和 6 年 3 月 11 日

事業所名 kids space リフライズ

	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	子ども いない	いいえ	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%		50%		・活動内容や、戸外活動など適時提案し、スペースを分けて落ち着いて活動出来るように対応している ・声や活動音が大きくなる場合は、カーテンを閉めたり、イヤーマフをするなど、なるべく音や他者の活動が目につかないような工夫をしている	・それでも難しい場合もあるため、支援員の声掛けや活動の工夫がより必要
	2 職員の配置数は適切である	100%				・送迎時間が被る時間帯は、フリーの支援員に送迎をお願いし、室内のスタッフの人員を確保している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	87%		13%			・木の素材が多いため、メンテナンスが必要 ・おもちゃの配置や道具を取り出しやすくする環境設定が必要
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%				・月2回ミーティングを開き、個別支援計画の見直しやイベントなどの話し合いをしており、ミーティングへ参加するスタッフも毎回多く、たくさんの意見が出ている。 ・毎日13時半から、利用者について、気をつけることや最近の様子、当日の活動内容についての話をしている	・ミーティングの際には、今後の課題だけではなく、直近の言動において気になる点や、成長できた点などの意見を収集し、支援の方向性を共有していける場にしていきたい
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%				・保護者様のご指摘やクレームを把握し、スタッフ間で共有、対応策を話し合い、その後の対応に活かしている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%					
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			100%			第三者による評価は現在していない
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%				・事業所内の施設研修を行っている ・外部研修案内をし研修の機会を確保している	職員への伝達講習を行ってきたい
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				・3~6か月に一度保護者面談を実施。 ・保護者との面談前には個別支援会議を行ない、子どもの様子について話し合いをしている。その後、話し合いの内容を含めて保護者と面談を行ない、子どもの様子を共有すると共に、保護者と今後の支援の方向性について共通認識を図っている ・支援計画作成後は、再度全スタッフと共有し、同じ方向性で支援できるようにしている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	87%		13%			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	87%	13%			・ミーティングや空き時間などで、リフライズにあるものでどのようなことができるのか、利用者ごとにどのような活動ができるのか、スタッフ間で話し合いをしている ・イベント計画後は全スタッフと共有し、よりよいイベントになるように意見を募っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	87%	13%			・同じ活動をする事で、安心する子どももいる為、同じような活動をしながらも、その中に新しい活動を取り入れるような工夫をしている ・利用者の意見も取り入れながら、職員全員に活動内容の提案をしてもらい計画している	・活動が固定化されてしまっている部分もあるので、いろいろな媒体を使って情報収集をしていく必要がある
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	75%		25%		・リフライズで過ごす時間の長さによって、何が出来るのかをスタッフ間で相談している ・長期休暇や休日にしかできない活動もあるので、子どもたちがいろいろな経験をすることができるよう、活動を考えている	・毎回同じような活動になってしまっている部分もあるので、アンテナを張って情報収集していきたい
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	87%	13%			・個別を好む利用者には、適宜個別に関わりながら、その子の様子を見て集団活動への移行も考えている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%				・13時半からミーティングを行い、当日の流れの確認をしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%				・その日の利用者で気になることは、その都度、情報共有をしている。 ・休みのスタッフでも、その日の利用者の様子が分かるよう、日報に詳しく書いている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%				・HUGIに記録をし、情報共有を行い、空き時間に話す時間を設けている	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%				・3~6ヶ月に一度モニタリングを行い、見直しをしている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	87%	13%			・子どものやりたいことを尊重しつつも、その中にいろいろな活動を取り入れることができるよう考えている。	・これからも、子どもの興味を引くような活動を考えていきたい	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%				・児発管、管理者が参画している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%				・保護者から行事予定を送ってもらっている ・保護者、学校の先生と連携が取れやすいように日頃から話が出来る体制を整えている	・事業所内の誰でもが対応出来るように、情報の共有の徹底を行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%				・対象児なし	・必要に応じて行っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	37%	26%	37%			・必要に応じて進めていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			100%			・対象児なし ・必要に応じて実施していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%				・研修案内を行っており、研修をうけている	・職員への伝達講習を行ってきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	63%	12%	25%		・外出先で交流する機会もある	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	100%					
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%				・送迎時や、HUGで様子をお伝えしており、面談時以外でも気になる点があれば直接話す機会を設けている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	12%	38%	50%		・ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者からの情報を元に提案を行っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				・契約時に実施している ・その後も、不明な点があればその都度対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%				・話しやすい環境を作り、送迎時やライン・電話で対応できるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%				・保護者参加のイベントを開催している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				・保護者や子どもから、気になることを聞いた際には、すぐに管理者に報告、児発管やスタッフと情報を共有し対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%				・リタリコブログやインスタ、HUGで情報発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	87%		13%		・イベント開催時には、写真付きのチラシを作成し、視覚的に分かりやすくしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%					
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%				・避難訓練（水害・地震・火災・不審者）を随時実施し、動けるようにしている	・時間がある土・祝だけではなく、平日にも実施していきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%					
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	12.50%	12.50%		・保護者からの情報提供で対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%					